



広報 かわにし

発行川西町・町長根津正三 編集企画室広報係小海正隆 定価1部5円 印刷白南風社

人口の動き	
9月1日現在	
男	5,137(+3)
女	5,274(+5)
計	10,411(+8)
世帯数	2,358(±0)
()内は前月との比較	



お母さん方 大ハッスル!!

先月25日、県の巡回スポーツ指導が川中で行われ、町のお母さん方およそ70人が参加。
体操やゲーム、フォークダンスなどに、年々?にも
はずの大奮闘ぶりでした。

第3回町民運動会

とき 9月24日
ところ 川中グラウンド
雨天のときは同体育館
主催 町陸上競技協会
後援 町体協、教育委員会等
地区対抗による余興レースなどたくさん用意してあります。

9月の休日救急医

急患以外はご遠慮を		
14日	山口 医院	2-2174
15日	富田 医院	2-2369
21日	庭野 医院	2-2711
24日	大島 医院	2-2957
28日	至誠堂 医院	2-3276
午前9時から午後5時まで		

議会人事

議会報告 小林議長・滋野副議長を再選 林道(市ノ越)工事は吉楽土建が

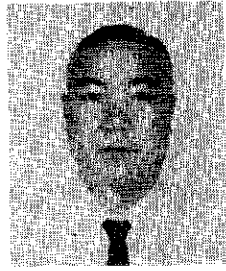
去る一日から、会期二十日までの予定で、第七回の町議会定例会が開かれています。開会初日には、建設工事の請負契約や、議事内容といわれる議長、副議長などの選挙を行いました。以後は、条例改正や、一般会

幼稚園舎、工期を

十一月二日に

建設工事の請負契約は、三件です。

そのひとつは、すでに発注されていた、町道神社線消雪パイプ工事で、設計変更にもなっており、契約内容の変更を生じたもの、変更後



小林議長



滋野副議長

常任委員会、正副委員長も決まる

議長、副議長などのいわゆる議会人事は、短期交替制(二年)を慣例としていたことによる改選で、小林議長、滋野副議長の辞表提出にともなう、日程を追加しながら

の金額は、一千二十九万二千元となりました。また、一昨年来進められている林道市ノ越線の、本年度工事分が一千九十万円の工事費で、株式会社建設の施工が決まりました。

さらに、町立幼稚園舎建設工事について、工期を一か月延長する契約内容の変更がありました。十一月二日まで延長されたものです。

そのほか、町道野口東浦線の一部改良工事に関する請願が、野口区長から出され、関係委員会に付託されました。今会期中には結論が出される見通しです。

ら、選挙を行いました。

この結果、議長には小林申一氏が、副議長には滋野一郎氏が、議員全員の信任を受けて、再

度選出されました。また、各常任委員会の委員長、副委員長は、委員会ごとに互選しましたが、総文委員長の小川氏、厚委員長の水落氏が再任されるなど、次のように決定しています。

- 総務文教委員長 小川 清次
副委員長 田中 茂
産業厚生委員長 水落 達一
副委員長 平野 義一
建設社会委員長 高橋 弥太郎
副委員長 戸田 晋次

町の工事

その後のうごき

町道改良事業 (入札八月十三日)

・野口下原線 野口地内、延長三

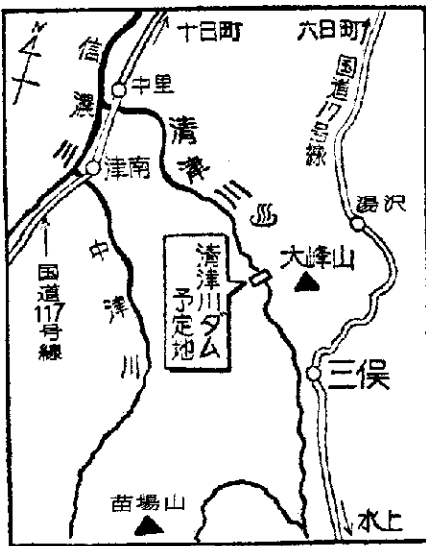
水資源確保に

清津川ダム対策

連絡協議会を設立

生活、工業用水をはじめ、水の使用が年々多くなり、将来の水需要を想定するとき、地下資源に頼

っている川西町は、絶対にたいじようぶとはいえません。水の問題は、どこの市町村でも



- ・田戸藤沢線 田戸地内、延長二〇〇メートル、幅員四〇メートル
・田戸藤沢線 田戸地内、延長二〇〇メートル、幅員四〇メートル
・田戸藤沢線 田戸地内、延長二〇〇メートル、幅員四〇メートル
・田戸藤沢線 田戸地内、延長二〇〇メートル、幅員四〇メートル

警察官の募集

10月10日 町民ハイキング大会 多数の参加を!!

明春四月採用の、新潟県警察官B(高卒程度)を、次により募集しています。

採用予定人員 約六十名
受付期間 九月二十七日まで
第一次試験 十月五日(日)
十日町市、中魚沼関係は、長岡市、長岡工業高校で行います。詳しいことは、警察署、駐在所へおたずねください。

対策を講じている現状です。そこで、地域的に共通する十日町市、津南町、中里村、湯沢町と相ばかり、清津川に多目的ダムを建設して、将来の水資源確保をはかろうと、このほど協議会を設立しました。しかし、このダム建設が予定されている湯沢町の三俣、大島、大木沢地区全戸約九十世帯が水没するという問題があり、治水、利水上のことなどもあわせて、建設を進めたいと検討しています。なお、計画概要では、コンクリート型式のダムで、高さ百五十メートル、総治水容量六千万立方メートル、流域面積百九十三平方キロメートルとなっています。計画は、本年から三年予備調査さらに、実施計画調査に三年間を要し工事に六年を予定しています。

事故死ゼロ 1,000日達成の 作文・ポスター紹介 ③

小学校・低学年

はいしやさんの帰り道

上野小三年 沢口正人

ぼくが、ようぢえんのところのこ
とです。
ぼくの虫はやめて、とみはい
しやさんに、つれていってもち
らってました。

二度目に行った日のことです。
ぼくと、おかあさんが、バイクに
ひかれました。その日は、くもり
っぽい空で、夕方だったので。
とみはいしやから出て、すぐ
右がわにつればよかったのに、
かあちゃんとぼくは、手をつない

で、左がわを歩きました。
後から、バイクがやってきまし
た。ちらっと、ライトが見えたと
き!!

かあちゃんに、ぶつかっていた
のです。そして、かあちゃんが、
ぼくにぶつかってました。

それまでは、よくわかるのです
が、あとはどうなったかわかりま
せん。

気がついたら、ぼくは、右がわ
にとばされてました。かあちゃ
んがいません。「わんわん」泣き
ました。

よくみたら、はなれたところに
かあちゃんが、頭から血をだして
ふくにも、血がついてました。
かあちゃんのそばへ、走って行
きました。かあちゃんは、かなし
そうな顔で、「マサト」といいま

した。
ぼくは、わあわあ泣きました。
そのうちに、ほかの人たちがた
くさんきて、ぼくだけを車にのせ
て、家へつれていってくれました。
家へ帰ったら、おねえちゃんが
泣いていて、ぼくに「おまえ、か
なしくねやんか。」と、かなしそ
うな顔でいました。「おれだつ
て、かなしやんど。」といいまし
た。

かあちゃんは、それからきゅう
きゅう車で、十日町病いんに、つ
れていかれたのです。

そして、一か月ぐらいたって、
十日町病いんから帰ってきました。
その間、かあちゃんもるすたっ
たし、とてもかなしい日はっかり
だったのです。

右がわを歩いていたって、死ん
でしまうことがあるのに、左がわ
を歩いて、わるかったな、と思っ
ています。

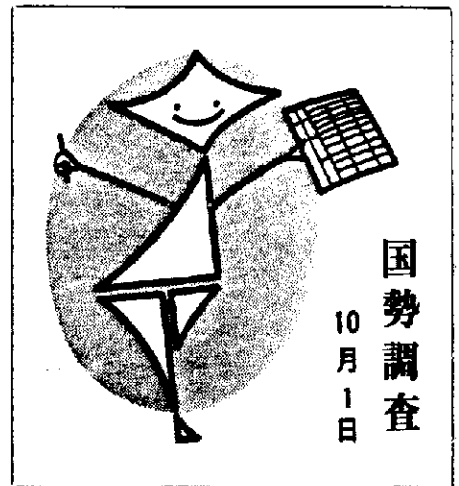
それからは、自動車や、バイク
をよく見て、交通じこにあわな
いようにしたい、と心にきめてが
んばっています。



・小学校・高学年
千手小5年 相崎光子

国勢調査が近づきました

その目的は.....



国勢調査は、
全国、都道府県
市町村の、人口
や世帯数、年齢
別の構成、など
を明らかにして
調査は、十月一日現在のありの
ままの姿を記入していただくもの
ですが、記入にあたっては、必ず
黒鉛筆を用い、汚したり、折った
りしないようお願いいたします。
記入の際不明の点は、説明書に
よるほか、調査員におたずねくだ
さい。

調査員は.....

次の方々から調査員としてご足
労いただきます。()内は担当町内
●千手地区
阿部武(中島町)、北村日出太(山
野田)、藤巻啓作・佐藤春男(発
電所通り)、高橋福治(永久公
舎・栄町・下平)、小野塚留吉(四
郎兼)、喜多誠(東善寺)、丸山
杜二(上町)、大井正司(中央
町)、小海和男(田中町)、高橋
義之助(神社町)、関口富司(学
校町)、小林英男(中屋敷)、大
井佐市(寺尾)、喜多武雄(木島
)、柄沢林蔵・数藤孝一(沖立)

星名一夫・羽鳥敬一(伊友)、
村山武(高原田)、高橋義夫(坪
山)、山岸善一(霜条)、田
村真一(鶴吉)

●上野地区
上村謙吉・富井信治・蔵品敷
(上野)、押木増雄・押木貢(元
町)、渡辺一郎・内山重義(新
町新田)、清水芳雄(下平新
田)、南雲隆三(三領)、小海
啓太郎(小根岸)

●橋地区

田口秀正・和久井秀雄(木落)
清水邦吉(寺ヶ崎)、藤巻一弘
(塩辛)、山田勇・高橋高芳・田
中一良(仁田)、滋野薫良・大久
保守一・丸山虎尾(野口・四十歩
)、根津徳次郎(原田)、丸山和
徳(根塚)、丸山仁吉(下原)

●仙田地区

小林正治・小林克治・小林政夫
(中仙田)、高橋喜久男・川崎辰
平(空島)、佐藤栄一(小脇)、
齊木能男(高倉)、茂野文司(藤
沢)、樋口虎一(田戸)、小川長
次(越ヶ沢)、田村俊秀・高橋幸
一(赤谷)、小川充・中村昌弘(岩
瀬)、中条栄吉(大倉)、保坂
康栄(大白倉)、江口日出男・江
口徹(小白倉)

国勢調査新潟県の手続人口を懸
賞募集していることは、前号でお
知らせのとおりですが、県の人口
のあゆみは、次のようになってい
ますので、参考にされますよう。
昭和四十年十月一日国調
三三九八九三一人
昭和四十五年十月一日国勢
三三六〇九八二人
昭和四十九年十月一日推計
三三七〇三一人

90歳の田畑さん(元町)



ほか3人に知事からの祝い 喜寿祝金=416人に

町に

九十歳以上は十二人

十五日は敬老の日、この日を中心に全国各地では、敬老会などいろいろな行事が行われます。

町でも、七十五歳以上のお年寄りに対して、敬老祝金の支給や、ねたきり老人にふとんを贈りするなど、長年にわたって社会に貢献された方々に、敬愛と長寿をお祝いすることになっています。

これらの方々には、あわせて県からもお祝いの菓子が贈られるほか、今年九十歳になられた方には知事のお祝い状と、座布団が贈られることになっており、当町では、元町の田畑留吉さん、木蔭の丸山ミチ子さん、原田の丸山寛治さん、中仙田の小林カタタさんの四名となっています。

今年町内で敬老祝金を受けられる七十五歳以上のお年寄りは、男百七十六名、女二百四十名の計四百十六名で、これは、九月一日現在の町の人口のほぼ四パーセントになります。

また、九十歳以上の高齢者は、伊友の羽鳥伝吉さんをはじめ、十二名です。

平均寿命の伸びなどから、年々お年寄りの占める割合が増えています。こうした方々から安心して、楽しい生活をおくっていただくため、いろいろの福祉事業が進められています。

例えば、別掲のような事業が町で行っている(国県補助も含む)仕事です。

今後、こうした福祉面には、かなりのウェイトがかけられることとなりますが、しかし、お年寄り自身も、福祉の充実のみ頼るのではなく、時代とともに生きる意欲を盛りあげることも大切なことだといわれています。

敬老の日にちなんで、だれにも訪ずれる「老後」を、じっくりとみつめてみてはいかがでしょうか。

「老人福祉、こんな仕事を」

▲敬老会 町婦人会のご協力のもとに、地区ごとに実施、今年はおよそ九百四十名、福地区がこの十五日に行うほか、千手は十月の予定、他は実施済。

▲敬老祝金の支給 七十五歳以上の老人に、一人二千円、今年は四百十六名

▲ねたきり老人見舞品支給 一年以上のねたきり老人で、常に介護を要する人、現在十四名、今年はおとんと上下を支給

▲老人医療費支給 七十歳以上の老人、六十五歳以上の重度障害者などに対し、医療費の本人負担分を町が支払

▲老人クラブ運営費補助 町内には二十七の老人クラブがあり、全体で百十四万円を補助

▲老人家庭奉仕員 ねたきり老人や単身老人などの食事、洗たく

一人権コーナー

⑤

老人の人権を守りましょう

古い世代と新しい世代の価値観の相違からくる誤解や、生活感覚の差異は、簡単に解消できないものでしょうが、夫と妻、親と子、嫁としゅうと、しゅうとめが、お互いの人間性を尊重しあい、真に民主的な家族観や生活感覚をもつように努力することが、最も大切なことではないでしょうか。

老人に対する人権侵害の特徴は、次のようなものです。

「被害者」 高齢の女性で、身のまわりの雑務を自分でできなくなった病気がちの人

「加害者」 被害者の子とその

配偶者が多く、中でも嫁のしゅうとに対する侵害が多い。

「侵害行為のタイプ」

遺棄・監禁型……病弱な老人を扶養しない、顧みない、粗末な一室にとじこめ、自由に外出させない。

暴力型……非力な老人に暴力をふるう。

冷遇型……食事、入浴、テレビなどを制限する。

扶養かい怠型……老人をたらいまわしにしてじゃま者扱いにする。

酷使型……病弱の老人に労働を強制する。

脅迫型……老人に財産を譲るよう迫る。

▲老人福祉相談員 老人特有の諸問題を解決するため、悩みごとや、相談相手となってくれる。町には二名の相談員を設置。

▲老人健康審査 年一回老人の健康診査(成人病検診に類するもの)を行っている。

▲職業訓練生を募集しています

県立魚沼専修職業訓練校では、五十一年度の訓練生を次により募集しています。

一、訓練科及び定員

電気工事科 二十名

木工科 三十名

建築科 三十名

左官科 二十名

二、応募資格

中・高卒者及び五十一年三月卒

三、応募手続き

在学者は、在学校長へ、その他の人は安定所へ願書を提出。

四、願書受付期間

十一月一日から同十九日まで

五、選考日時及び場所

十一月二十六日、午前九時から十日町市民館で

六、選考方法

学科試験及び面接 ※くわしくは、企画室広報係へ

もとめない・三ない運動を推進

町長選・町議補選来月に!!

今年、明治二十三年に第一回の衆議院議員選挙が行われたから八十五周年、大正十四年に普通選挙法が公布され、二十五歳以上の男子による普通選挙制度が確立してから五十年、また、昭和二十一年に婦人参政権が与えられてから三十周年、という、きわめて意義深い年となっています。

この意義深い年にあたり、国においても、先の臨時国会で、選挙をきれいなものにし、姿勢を正すことによって、政治に対する国民の信頼回復と、健全な議会制民主政治の発達をはかろうと、選挙違反一掃の措置を講じました。

こうした動きの中にあつて、過去川西町で行われた数多い選挙をふり返してみると、必ずしも明るい正しい選挙ばかりであったとはいきれないものがあります。町では、来月に町長選挙と、同時に町議会議員の補欠選挙が予定されていますが、過去の汚点を一掃し、明るいきれいな選挙であった、といえるものにしたいたいです。

明るい選挙推進協議会 川西町選挙管理委員会

おくらない、もらわない、もとめない、という選挙の正しいルールを守り、金のかからないきれいな選挙が行われるよう、川西町明るい選挙推進協議会では、世論の動きに対応して、広く有権者に呼びかけることになりました。

今後、選挙を汚す行為に対しては、有権者すべてが一層厳しい批判をくだす覚悟で、この運動の推進にご協力いただきたいものです。

おくらない・もらわない

先日の臨時国会で、選挙をきれいなものにし、姿勢を正すことによって、政治に対する国民の信頼回復と、健全な議会制民主政治の発達をはかろうと、選挙違反一掃の措置を講じました。

明正選挙の国民運動を強力に推進し、買収供応などの悪質な違反を根絶やしにしようというもので中央には、「選挙をきれいにする国民運動推進本部」を設けました。また、これに呼応して県にも、「選挙をきれいにする国民運動新潟県本部」を設置しており、対応して県下各市町村でも、推進本部をつくり、国民総ぐるみの運動として展開することになっています。

ミニコロニー建設準備資金、社会を明るくする運動資金の二件の封筒募金につきましては、皆さんの絶大なるご協力をいただき、目標をこえる実績をあげることができました。

大勢の方々の貴重な浄財を大切に、それぞれの目的のため有効に使用させていただきたく考え、今後とも一層のご理解をお願いし、報告にかえさせていただきます。

実績
ミニコロニー募金 五〇〇、六一円
社会を明るくする運動募金

ミニコロニー建設準備資金、社会を明るくする運動資金の二件の封筒募金につきましては、皆さんの絶大なるご協力をいただき、目標をこえる実績をあげることができました。

大勢の方々の貴重な浄財を大切に、それぞれの目的のため有効に使用させていただきたく考え、今後とも一層のご理解をお願いし、報告にかえさせていただきます。

実績
ミニコロニー募金 五〇〇、六一円
社会を明るくする運動募金

心配ごと相談所の開設

いすれも午後一時から三時まで

お気軽に利用を!!

九月十七日 橋出張所
九月二十四日 総合センター
十月一日 上野連絡所
十月八日 仙田出張所

歌会始のお題は「坂」です

来年の歌会始のお題は「坂」と定められました。

「坂」とは、一般にはのぼりくだりのある道をさしますが、歌には、地名としての坂道、抽象的に「人生の坂」などでも結構です。

詠進要領は

用紙は半紙とし、毛筆で自書のこと(病氣などの場合、その理由を添えれば代筆でも可)

書式は、半紙を二つ折りにし、右半面にお題と歌、左半面に住所、氏名(ふりがな)、生年月日、職業(具体的に)を記入。

詠進期間は、十月十一日まで、あて先 千一〇〇 東京都千代田一番一号 宮内庁

(詠進歌と書き添えること)

封筒募金二件

ご協力に感謝します

三二六三九九円

成功させよう

林分改良事業

町内さくぼ

今年、町内最大の事業の中に林分改良開業事業というのがある。いささか耳慣れない事業であるが、早い話が、町内の山々に、大規模な造林を行おうというもの。

この候補地としては、延命寺

今年、町内最大の事業の中に林分改良開業事業というのがある。いささか耳慣れない事業であるが、早い話が、町内の山々に、大規模な造林を行おうというもの。

この候補地としては、延命寺

今年、町内最大の事業の中に林分改良開業事業というのがある。いささか耳慣れない事業であるが、早い話が、町内の山々に、大規模な造林を行おうというもの。

この候補地としては、延命寺

今年、町内最大の事業の中に林分改良開業事業というのがある。いささか耳慣れない事業であるが、早い話が、町内の山々に、大規模な造林を行おうというもの。

この候補地としては、延命寺



雑木中心の町内の山林を、経済性豊かな樹種へ切りかえ、山林収益の増大をめざすとともに、水資源の涵(かん)養など町土保全、緑化に努めたという趣旨のものである。具体的にこの事業で行うことは、①町全体を対象とした杉の間引きを行う間伐事業、②保安林の間伐を主とする択伐事業、③雑木林への植林、作業道開削を主とする低位利用広葉樹林分事業の三つであり、当町にある坪山、中屋敷、庄司山といった各山の周辺があがっており、部落有林を主体に階段造林などが進められることになる。

また、費用の面は、国、県、町の三者が三分の一ずつの負担となるもので、事業主体は町、作業にあたっては、部落の方々のご協力をいただきたいとのことである。

杉は、ほぼ七十年で伐期を迎えるとか、伐採による収益は、町と部落が分けあう方法をとるといふ。

いささか先の長い話でもあるが、しかし、また、緑豊かな明るい町を、次代に残すことも、今を生きるわれわれには大切な任務、是非成功させたい事業である。

この事業のため、ブルドーザー以下各種の機械をそろえることになっているが、先月トラック、マイクروبス、チェーンソーなどが到着(写真)、従事される人々の安全と、事業の成功を祈って、安全祈願が行われた。

自作未発表のもの 一人一首

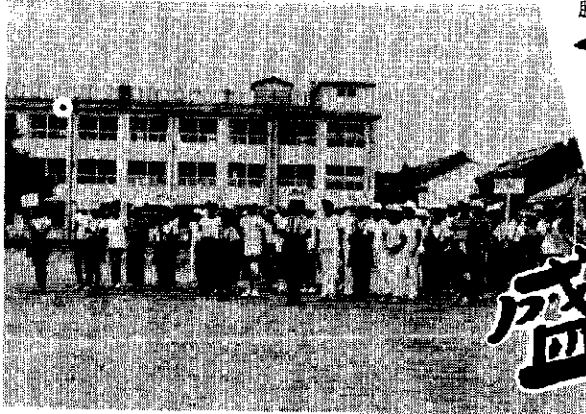


八月九日、十日、町内の少年野球大会を開催、炎天にもめげず、熱戦の結果は、千手Aチームが優勝

体協 空手道部員を募集

心身を鍛練するのに、絶好の秋がやってまいりました。空手道部では、千手小学校体育館で、毎週月曜日と水曜日の午後七時から、八時半まで練習を行っていますので、護身と健康増進のためには最高の、空手道への入部を希望する青少年の方々を募集しております。危険なことはありませんから、女子部員も歓迎いたします。

責任者 川崎信夫



▲8月5日、町内小学生の親善水泳大会を橋小プールで開催。豆選手たちが、水しぶきをあげながら、大奮闘でした。



八月十五日、恒例の成人式を挙行、成人者二百三十九名中、百三十二名が出席、(上)成人を代表して、野口の滋野大介君が、力強く二十歳の誓を(下)発表しました。

庁内人事

▽配置換え/八月二十五日付
企画室農村総合整備係・登坂光国(建設課土木第一係)、同・南雲晃(産業課農林係)、建設課土木第一係・高橋幸司(健康管理室衛生係)

届かない

こんなときは郵便局へ

「郵便物が届かない」「内容品が不足している」「こんなときはお近くの郵便局へお申出ください。とかく「普通郵便物は、書留郵便物と違い、調べてもわからないだろう」などとあきらめがちですが、書留扱い、普通扱いにかかわらずお申出ください。郵便局では、調査のうえ、その結果をお知らせします。

民俗資料

【八月分】

◎入手品、大震災の絵紙、たばこ入れの差編織、ガソリンポンプ、まといばれん、花火の大筒、土うす台一式、ツムのすり台、竹燭台土俵の水桶、高級箱まくら、そば切り台、まゆの風ぬき、棟上げの矢頭六品、大スカリ、馬のくら飾り、アブよけ、徳利。
◎寄贈者(敬称略)、齊木松二郎(小脇)、赤谷部落、藤沢部落、茂野耕作(藤沢)、茂野太市(藤沢)、小川正広(赤谷)

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

- 田村 欽司 真一 二男 鶴吉
- 水落 幸恵 孝 長女 仁田
- 関口 尚生 宗一 二男 中島町
- 小幡 清久 久夫 二男 木落
- 高橋 香織 彦行 長女 室島
- 澤濁 友美 徳次郎長女 宛所通
- 桐生 玲 正實 長女 大白倉
- 相崎 文幸 喜市 長男 沖立
- 川上 忠宏 喜代志長男 沖立

たかさこ—こ田満に

- ◎新郎 星名 政一 沖立
- ◎新婦 樋口 玲子 十日町から

昇天—こめい福を祈る

- 権間治郎兵衛 伊友 七八
- 高橋 寅治 学校町 七九

納税メモ

間接税について
間接税は、ほとんど国税で、たくさん種類があります。日常生活の中で間接的に納めているもので、次のようなものです。
△酒税 酒類の製造者に課税
全体の三十二パーセントは交付税として地方に交付されるものです。
△砂糖消費税 砂糖類の製造者に課税
△自動車重量税 車の検査、届出の際重量により、所有者等に課税、この税は市町村に譲与されます。次号続



かわにし 俳壇

太田白南風選
小白倉 江口凡石
町から生きのびよと力杖を
頂いた嬉しさに一句
杖うれし彼岸詣りも旅行にも
曲りたる胡瓜残暑の日があたる
鉄工所つち音止まず残暑の日
噴水に金魚のゆれる色光る
深露のこぼる朝の静けさよ
小白倉 片桐玉章
町毎に山車競い居る秋祭り
コスモスの静かな風に揺れている
池の鯉大きな波紋秋はこれ
大倉 金子洋石
天の川澄んで更けゆく夜の冷え
実のはしけと奈草の実をばしけり